

2025年8月26日

学修時間および授業満足度の実態把握 に関する報告書

2025年度春学期

清泉大学看護学部
教務委員会

目的

- 清泉大学看護学部の授業科目における学修実態および授業満足度の実態を把握する.
- 本学の教学マネジメント体制における, 教育課程の編成に関する全学的な方針の検討への基礎データとして活用すること.
- 調査項目
 1. 授業時間外の学修時間
 2. 予習・復習の実施状況
 3. 授業満足度

調査概要 (1)

■ 調査時期

- 2025年7月

■ 調査対象

- 清泉大学看護学部生を対象とした.
- 分析対象としたのは, 2025年度春学期に開講した科目のうち69科目(※昨年度61科目). 内訳は次ページのとおりである.

調査概要 (2)

表1 分析対象科目（学部）

学年		区分	講義	演習	実習	合計	
1年次科目		共通教育	5	6	0	11	
		専門教育	基礎	6	0	0	6
			基盤	1	1	0	2
			専門教育全体	7	1	0	8
2年次科目	専門教育	基礎	5	0	0	5	
		基盤	1	1	0	2	
		教職	1	0	0	1	
		実践	4	0	0	4	
		総合	6	1	0	7	
		専門教育全体	17	2	0	19	
		3年次科目	専門教育	基礎	1	0	0
基盤	0			2	0	2	
教職	2			0	0	2	
実践	0			9	0	9	
総合	1			5	0	6	
専門教育全体	4			16	0	20	
4年次科目	専門教育			基盤	1	0	0
		教職	0	0	1	1	
		総合	2	7	0	9	
		専門教育全体	3	7	1	11	
		看護学部全体	36	32	1	69	

* 共通教育科目の受講者には看護学部および人間学部・人文社会科学部の学生が含まれる。

調査項目1 (授業時間外の学修時間)

■ 調査方法

- ・ 授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として学修時間を調査した。アンケートは無記名アンケート方式で行った。

■ 調査項目：(学修時間と学習行動について)

Q2 毎回平均してどのくらいこの授業の予習復習を行いましたか？

- 1 : 0時間
- 2 : 30分程度
- 3 : 1時間程度
- 4 : 1時間半程度
- 5 : 2時間以上

■ 分析方法

- ・ 各選択肢の間隔は30分であり均等であるため、間隔尺度として用いた。また、1を「0分」、2を「30分」と学修時間の推計量として用いて、時間換算した。

調査項目1 (学修時間(分)の記述統計 看護学部全体)

- 学年ごとの学修時間の平均値は、推定で1年生42.5分, 2年生61.5分, 3年生53.8分, 4年生101.4分であり, 学年が進むにつれて学修時間が長くなる傾向であった。
- 最も学修時間が長かったのは、昨年同様, 4年生の演習で推定114.3分であり, 2時間近くの学修を行っていた。
- 全体的に回答率が低く、また授業毎の回答率にもばらつきがあるため、それをふまえて考察する必要がある。

表2 看護学部全体の平均学修時間 (授業形態別)

学年	講義		演習		実習		全体	
	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数
1年次	40.2 (10.82)	12	46.6 (20.15)	7	—	0	42.5 (15.27)	19
2年次	61.6 (14.70)	17	60.8 (30.85)	2	—	0	61.5 (17.13)	19
3年次	30.0 (4.24)	4	59.8 (22.35)	16	—	0	53.8 (23.34)	20
4年次	75.1 (7.16)	3	114.3 (6.78)	7	90.0 (0.00)	1	101.4 (18.69)	11
全体	52.0 (18.32)	36	68.9 (31.83)	32	90.0 (0.00)	1	60.4 (26.97)	69

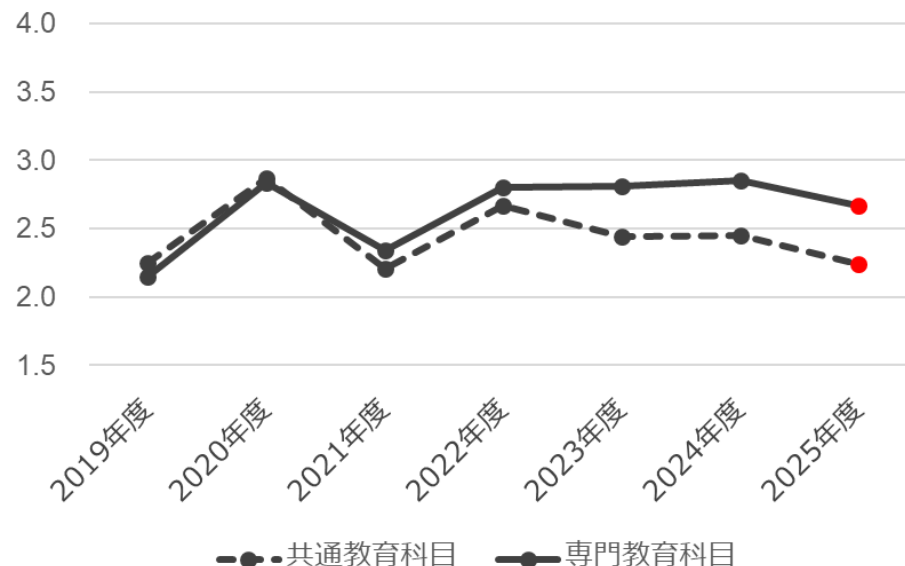
調査項目1 (学修時間(ポイント)の記述統計 1年生 共通教育・専門科目 年度比較)

- 2025年度の1年生の共通教育科目における学修時間の平均値は2.24(推定37.1分), 専門教育科目は2.67(推定50.0分)であり, 専門教育科目の方が学修時間が多い結果となった。2024年度の1年生に比べ, 共通教育・専門科目ともに0.2ポイント(推定約5分)の減少となった。

表3-1 1年生の学修時間の比較 (共通教育・専門科目別)

年度	共通教育科目		専門教育科目	
	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数
2019年度	2.25 (1.12)	14	2.15 (.81)	6
2020年度	2.87 (1.13)	13	2.84 (1.03)	6
2021年度	2.21 (.98)	11	2.34 (.92)	7
2022年度	2.67 (.69)	13	2.80 (.36)	5
2023年度	2.44 (.43)	13	2.81 (.51)	10
2024年度	2.45 (.28)	9	2.86 (.59)	8
2025年度	2.24 (.33)	11	2.67 (.60)	8

表3-2 1年生の学修時間推移グラフ (共通教育・専門科目別)



1 : 0時間、2 : 30分程度、3 : 1時間程度、4 : 1時間半程度、5 : 2時間以上

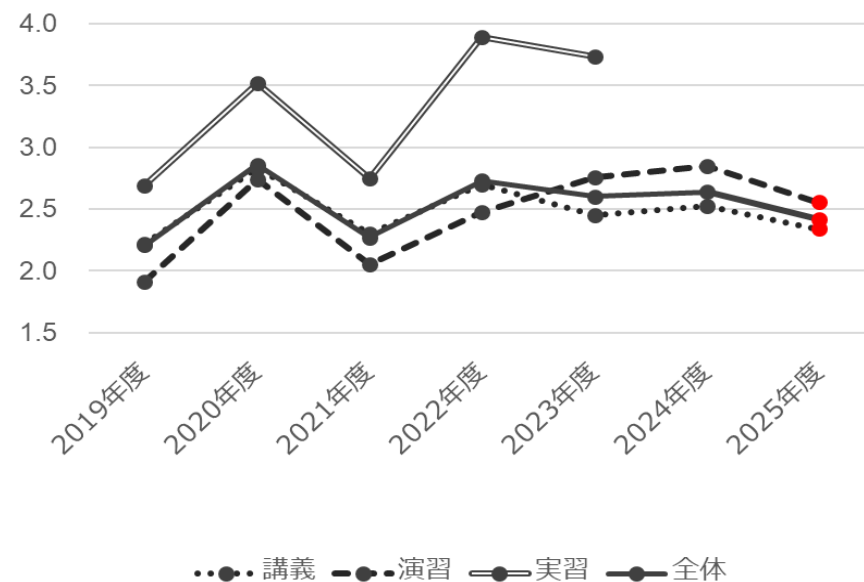
調査項目1 (学修時間(ポイント)の記述統計 1年生 講義形態別 年度比較)

- 年度毎にばらつきは見られるが、2023年度までは実習科目にかける学修時間が長かった。2025年度は調査時期の時点で実習が終了しておらず、学修時間は不明である。
- 2025年度は、昨年度と比べて講義・演習科目ともにおよそ0.2ポイント(推定約5分)の減少となった。

表4-1 1年生の学修時間の比較(講義形態別)

年度	講義		演習		実習	
	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数
2019年度	2.22 (.99)	16	1.91 (.89)	3	2.69 —	1
2020年度	2.83 (1.08)	15	2.74 (1.00)	3	3.52 —	1
2021年度	2.30 (.96)	15	2.05 (.79)	2	2.75 —	1
2022年度	2.70 (.60)	14	2.48 (.17)	3	3.89 —	1
2023年度	2.45 (.38)	15	2.76 (.51)	7	3.74 —	1
2024年度	2.52 (.30)	11	2.85 (.68)	6		
2025年度	2.34 (.36)	12	2.55 (.67)	7		

表4-2 1年生の学修時間推移グラフ(講義形態別)



1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

調査項目1 (学修時間(ポイント)の記述統計 コホート別 2～4年生推移)

- 各コホートで, 進級につれて全体的な学修時間は増加する傾向にある。
- 2022年度の入学生では, 実習科目における学修時間が減少している結果であるが, 調査時点で本格的に実習が始まっていなかったため, 実際の状況は把握しかねる。
- 2023年度の入学生は講義科目において3年次に学修時間が減少している。講義科目数が少ないことも関係していると考える。

表5-1 2024年度入学生(現2年生)

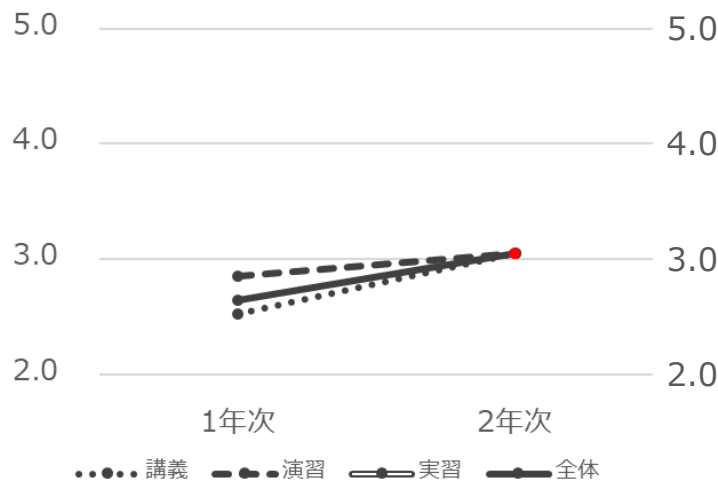


表5-2 2023年度入学生(現3年生)

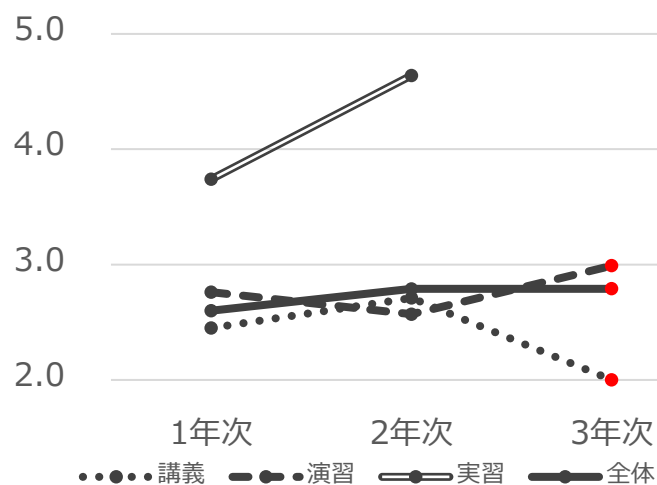
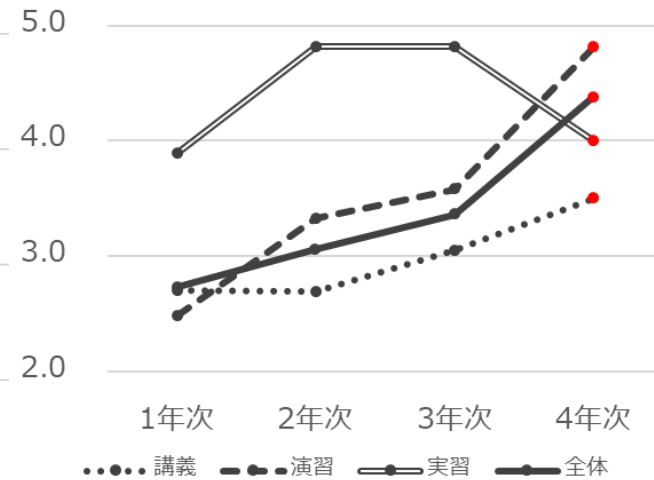


表5-3 2022年度入学生(現4年生)



1 : 0時間、2 : 30分程度、3 : 1時間程度、4 : 1時間半程度、5 : 2時間以上

調査項目2(予習・復習の実施状況)

- 低学年時は復習に重点を置く傾向がみられた一方, 高学年になると予習・復習の両方を重視する傾向にある.

表6 看護学部全体の予復習の状況

学年		両方	予習	復習	どちらもあまり やらなかった	やらなかった
1年次	講義	6.0%	4.3%	76.7%	10.6%	2.3%
	演習	21.4%	21.2%	47.3%	8.6%	1.5%
2年次	講義	29.5%	11.4%	57.4%	1.3%	0.3%
	演習	46.3%	9.8%	43.9%	0.0%	0.0%
3年次	講義	24.4%	0.0%	51.2%	14.6%	9.8%
	演習	41.7%	25.5%	28.9%	3.6%	0.3%
4年次	講義	54.2%	21.7%	21.7%	2.4%	0.0%
	演習	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	実習	86.2%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%

調査項目2(予習・復習の実施状況(割合・ヒートマップ))

表7-1 看護学部全体の予復習の割合グラフ

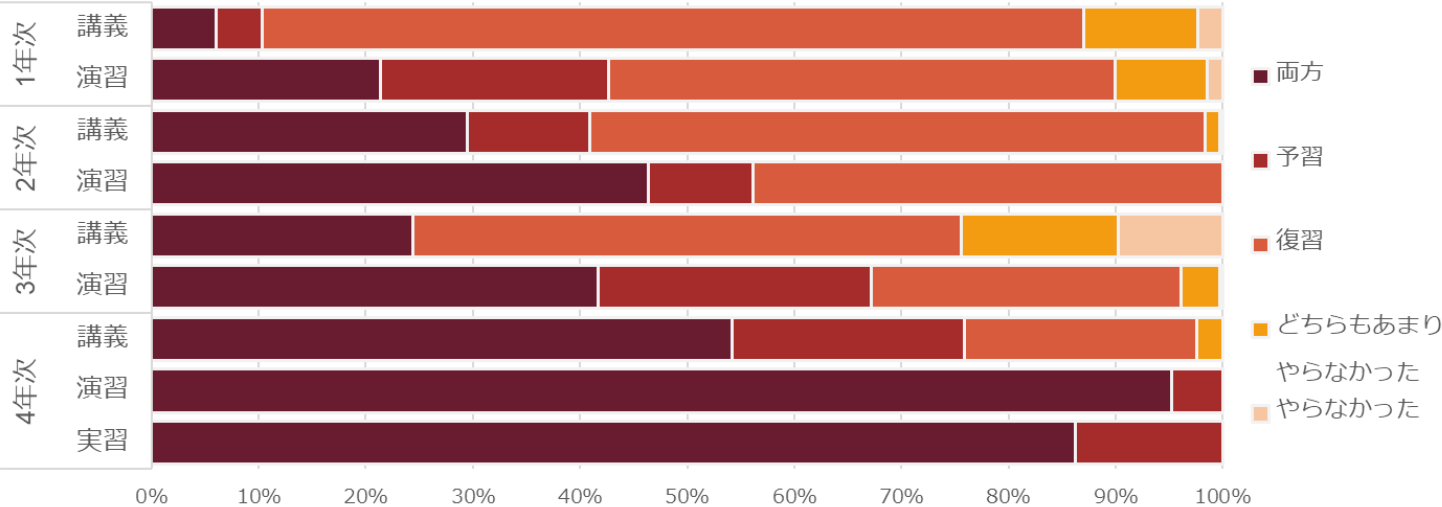
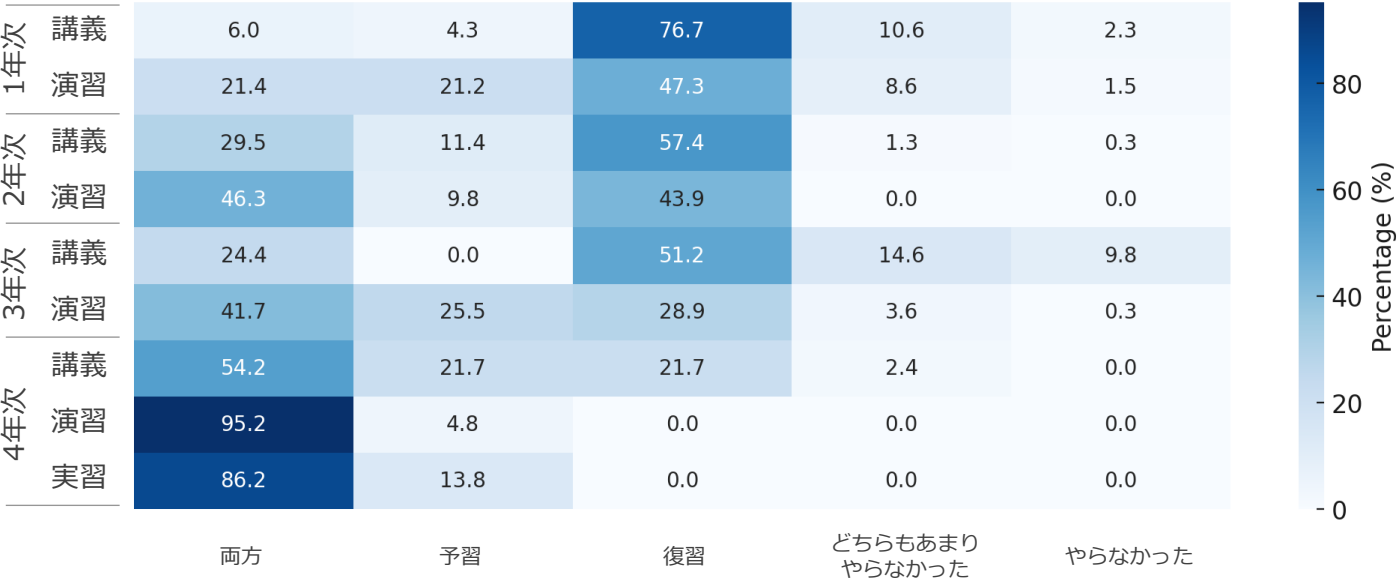


表7-2 看護学部全体の予復習のヒートマップ



調査項目3(授業満足度)

■ 調査方法

- ・授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として授業満足度を調査した。
アンケートは無記名アンケート方式で行った。

■ 調査項目：(この授業について)

Q15 総合的に、私はこの授業に満足した。

- 1 : そうは思わない
- 2 : あまりそう思わない
- 3 : どちらともいえない
- 4 : どちらかと言えばそう思う
- 5 : そう思う

■ 分析方法

- ・科目ごとに項目得点の平均値を算出したうえで、学年、学科、授業形態に分けて平均得点を算出した。

調査項目3 (授業満足度の記述統計 2025年度 看護学部全体)

- 授業満足度は、1年生4.59，2年生4.68，3年生4.72，4年生4.80と全体的に高い傾向であった。
- 今回の調査結果では、1年生の演習科目の満足度が最も低い4.55であり、他学年と比べて1年生全体の満足度が低い結果となった。
- 2年生の演習、4年生の演習の満足度は4.9に近い値であり、非常に高かった。
- 全体的に回答率が低く、また授業毎の回答率にもばらつきがあるため、それをふまえて考察する必要がある。

表8 看護学部授業満足度 (授業形態別)

学年	講義		演習		実習		全体	
	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数
1年次	4.62 (.21)	12	4.55 (.23)	7			4.59 (.22)	19
2年次	4.66 (.38)	17	4.87 (.13)	2			4.68 (.37)	19
3年次	4.70 (.22)	4	4.73 (.38)	16			4.72 (.35)	20
4年次	4.67 (.08)	3	4.88 (.19)	7	4.67 (.00)	1	4.80 (.19)	11
全体	4.65 (.30)	36	4.73 (.33)	32	4.67 (.00)	1	4.69 (.31)	69

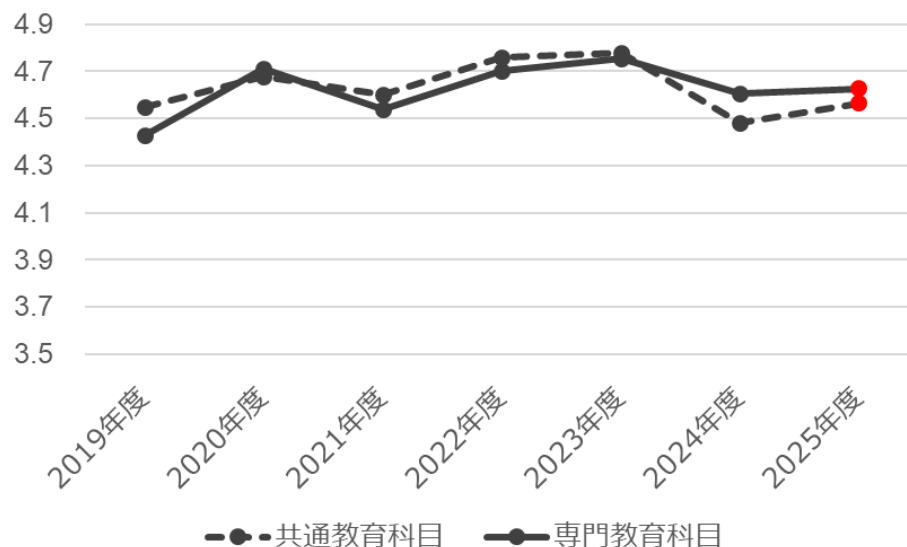
調査項目3 (授業満足度の記述統計 1 年生 共通教育・専門科目 年度比較)

- 1年次の共通教育科目における授業満足度の平均値は4.56, 専門教育科目の授業満足度の平均値は4.63 であり, 共通教育科目と専門教育科目の間に大きな差がなかった. 例年とほぼ同程度の水準値となっている.
- 共通教育科目, 専門教育科目とも授業満足度は高い傾向を示した. 特に2023年度1年生は共通教育科目, 専門教育科目ともに高い満足度を示した.

表9-1 1年生の授業満足度の比較 (共通教育・専門科目)

年度	共通教育科目			専門教育科目		
	M	(SD)	科目数	M	(SD)	科目数
2019年度	4.55	(.70)	14	4.43	(.82)	6
2020年度	4.68	(.61)	13	4.71	(.50)	6
2021年度	4.60	(.75)	11	4.54	(.85)	7
2022年度	4.76	(.60)	13	4.70	(.71)	5
2023年度	4.78	(.13)	13	4.75	(.17)	10
2024年度	4.48	(.38)	9	4.61	(.15)	8
2025年度	4.56	(.23)	11	4.63	(.19)	8

表9-2 1年生の授業満足度推移グラフ (共通教育・専門科目)



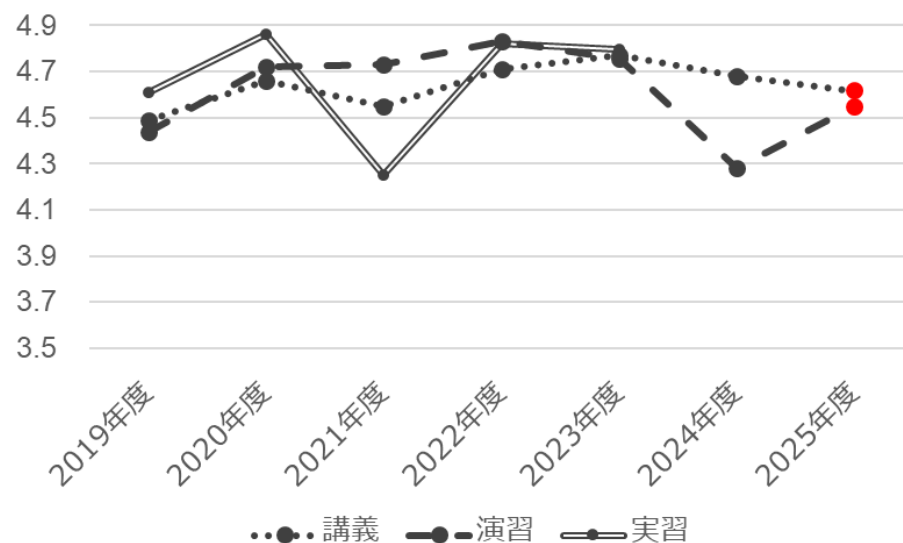
調査項目3 (授業満足度の記述統計 1年生 授業形態別 年度比較)

- 1年生の授業満足度は、毎年度、高い値を維持し、2022, 2023年度の1年次は講義, 演習, 実習ともに最も高い満足度を示した.
- 2024年度に演習科目の満足度が大きく低下したが、2025年度には満足度が上昇している. 2024年度に比べて2025年度の回答数が増加しているため他の年度と比較することは難しいが、自由記載等からその理由を考える必要がある.

表10-1 1年生の授業満足度の比較 (授業形態別)

年度	講義			演習			実習		
	M	(SD)	科目数	M	(SD)	科目数	M	(SD)	科目数
2019年度	4.49	(.77)	16	4.44	(.71)	3	4.61	—	1
2020年度	4.66	(.60)	15	4.72	(.47)	3	4.86	—	1
2021年度	4.55	(.82)	15	4.73	(.56)	2	4.25	—	1
2022年度	4.71	(.69)	14	4.83	(.43)	3	4.82	—	1
2023年度	4.77	(.16)	15	4.75	(.14)	7	4.79	—	1
2024年度	4.68	(.13)	11	4.28	(.35)	6			
2025年度	4.62	(.21)	12	4.55	(.23)	7			

表10-2 1年生の授業満足度推移グラフ (授業形態別)



調査項目3 (授業満足度の記述統計 コホート別 2～4年生推移)

- 2022年度入学生は, 2年次(2023年)に授業満足度が全体的に低下しているが, 3年次以降は上昇傾向に転じている.
- 2023年度入学生は, 3年次(2025年)に授業満足度が若干低下している.
- 2024年度入学生は, 他のコホートに比べて, 進級時の授業満足度上昇が大きい.

表11-1 2024年度入学生(現2年生)

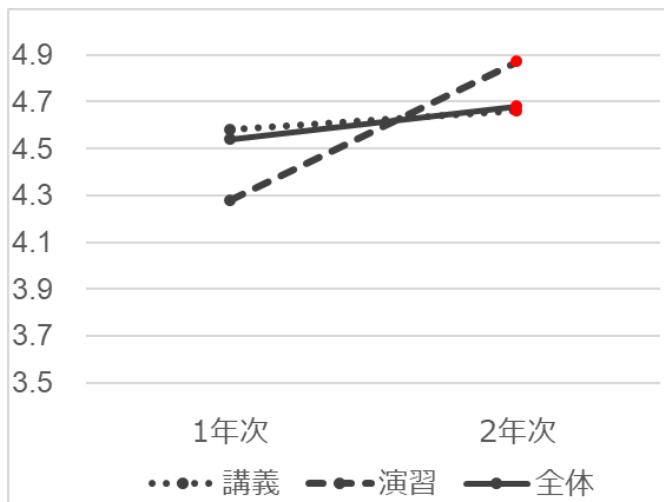


表11-2 2023年度入学生(現3年生)

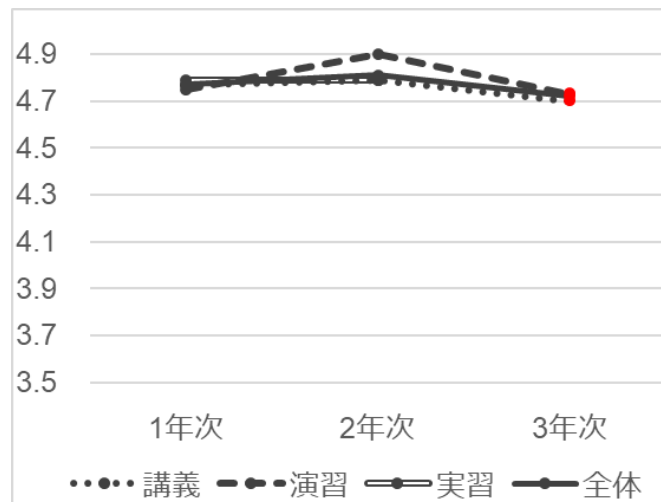


表11-3 2022年度入学生(現4年生)

